

第70回関東地区高等学校PTA連合会大会 千葉大会
「第3分科会」

生徒と学校教育の 架け橋を担うPTA活動



茨城県立取手第一高等学校

発表者 PTA会長 須賀由美子

PTA副会長 渡部雅史

必要な時に、必要なことを、必要なだけ、
生徒たちのために、できるサポートをする。
もっと気軽に、もっと柔軟に。



生徒たちの健全育成を進めていく上で、
学校、家庭、地域社会など、さまざまな要素が
つながり、協働することが必要。

生徒と学校教育活動をコネクトする！

- 1 学校概要
- 2 生徒との意見交換を通じて
- 3 生徒の安全教育と規律ある態度を育てる場を通じて
- 4 教員との情報交換の場を通じて
- 5 教育支援に必要な学ぶ場を通じて
- 6 おわりに

～学校概要～

沿革



大正11年：北相馬郡北総実修学校として設立

昭和 2年：茨城県立取手農学校開設

昭和17年：茨城県立取手園芸学校に改称

昭和24年：茨城県立取手第一高等学校に改編

令和 4年 4月15日 創立100周年記念日

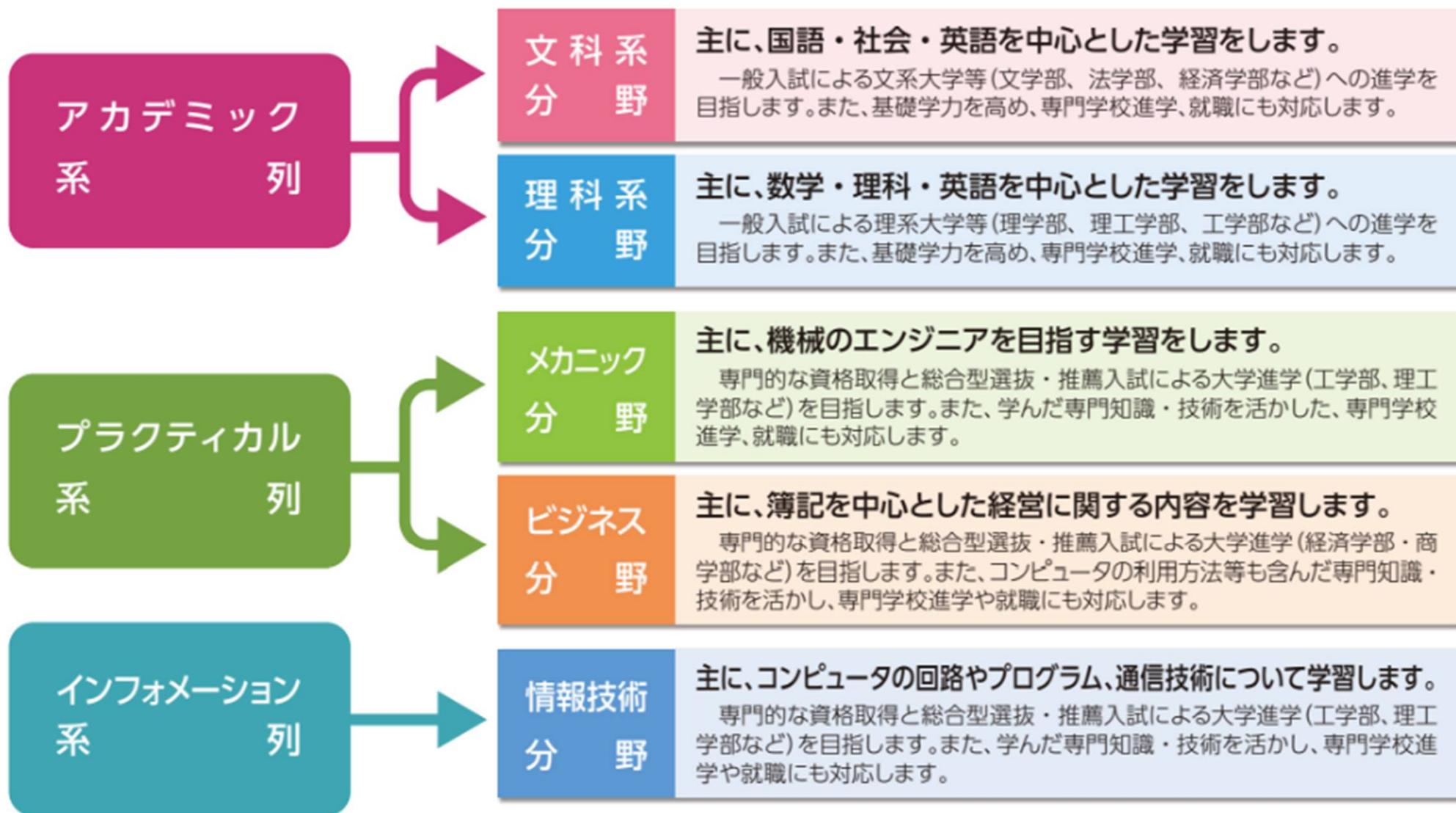


100周年記念誌



創立100周年記念式典

「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を自らがデザインする



校訓

しせい
至誠

すべてに真心をこめて

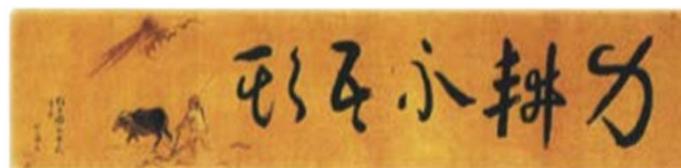
じゅんこう
醇厚

たがいに人格を尊重し
礼儀正しく

じきょう
自彊

つねに心身を鍛え
積極性を発揮しよう

取一精神



りきこうわれをあざむかず
力耕不欺

とうえんめい
詩人 陶淵明「移居」の一節



関東、全国大会へ出場と活躍の場が広がっています

ライフル
射撃部



弓道部



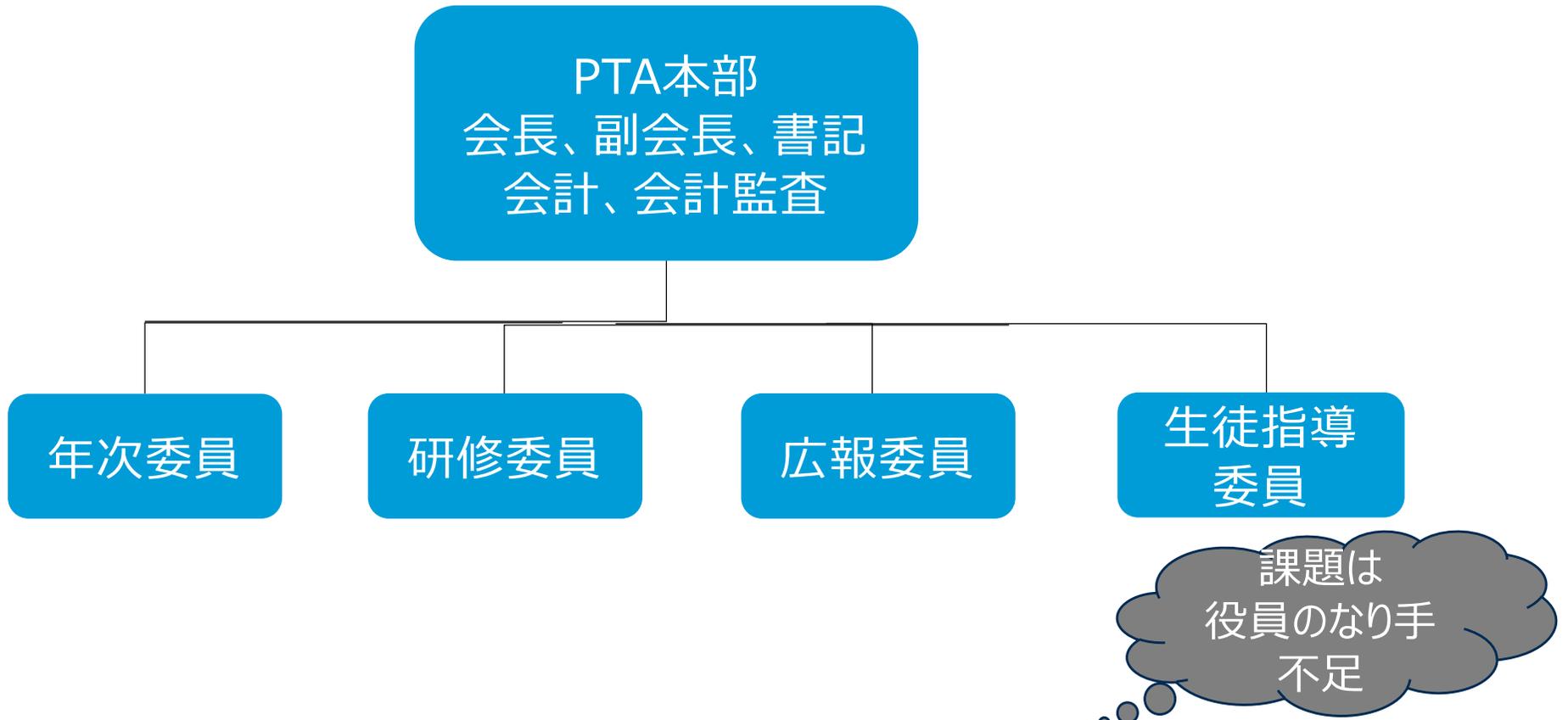
自転車
競技部

剣道部



PTA活動のモットー

「できる人が、できるときに、できるだけ」



楽しみながら無理なく続けるために、活動の効率化と柔軟な運営が大切。

～PTAと生徒との意見交換を通して～

PTAと生徒との懇談会を通して



【目的】

日頃抱えている先生には言いにくい問題や疑問をPTAと共有し、改善策提案や問題解決を図る。



- 学校行事の見直し
- 夏季登下校時の服装の緩和
- 体操服のデザイン変更
- 校舎外の自動販売機や購買部の設置

～生徒の安全教育と規律ある態度を
育てる場を通じて～

生徒の安全教育と規律ある態度を育てる



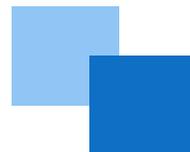
【目的】

安全な登下校と規律ある態度を育てるために、PTAと教員とが連携し、登下校指導をする。



「おはようございます」と声をかけるとしっかりとアイコンタクトを取りながら、気持ちの良い挨拶を返してくれる生徒が多い。

～PTAと教員との情報交換の場を通じて～



保護者同士、学校、地域とのコミュニケーションや つながりを深め、学び合う

【目的】

生徒の学校生活での様子についてなかなか知る機会がない保護者と教員との交流を目的として、毎年、各年次が思考を凝らしたワークショップの開催を通じて、つながりを深め、より豊かな教育支援に役立てる取り組み。



1年次：クリスマススワッツ又はリース作り

参加人数：27名

サポート：Avilio Flowers

(アヴィリオフラワーズ) 宮島雅子氏



各年次の取組



2年次：コーヒーセミナー
参加人数：17名
サポート：スターバックスコーヒー
ジャパン
(アトレ取手店)



3年次：高校生のための
おいしいごはんの作り方
ワークショップ
参加人数：22名
サポート：小匙店主 河井美歩氏



～教育支援に必要な知識の学ぶ場を通じて～

子どもの成長を支えるために、保護者として準備できること

【目的】

保護者教育の促進、保護者が子供の教育や学習を支援するための知識習得に関する取り組み。

講師：株式会社フィナンシャルクリエイト
代表 高塚大弘氏
参加人数：10名



奨学金

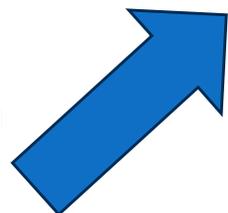
ライフ
デザイン

～おわりに～

「保護者と学校が顔の見える関係」になる



生徒の健全育成を進める



意見交換の
場づくり



対話を通じた
相互理解



ゆるい
つながり

学校教育活動の架け橋を担うPTA



ご清聴ありがとうございました

2024年度 茨城県立取手第一高等学校
PTA本部役員 須賀由美子 渡部雅史 相原 聡
Special Thanks 鎌田圭二先生